

【私立学校用】 被害情報報告の手引き

令和7（2025）年5月版

子ども若者部

子ども若者政策・私学振興課

目 次

第1編 被害情報の作成手順（共通事項）

【1】報告ファイル（Excel 様式）の作成	…	1
【2】報告ファイルの提出先（連絡先）	…	1

第2編 人的被害情報の作成手順

【共通：①】本編での共通事項	…	2
【共通：②】集計時点での報告内容	…	2
【共通：③】各報告項目に共通する項目の入力（設置者名、学校名）		2
【1】学校管理下の人的被害の内容	…	3
【2】学校に取り残されている人数	…	4
【3 b】（個別校入力用）休校・短縮授業の措置を行っている学校	…	5
【4】避難先となっている学校	…	6

第3編 物的被害情報の作成手順

【共通：①】本編での共通事項	…	7
【共通：②】基本項目の入力	…	7
【共通：③】各報告項目に共通する項目の入力	…	8
【1】必須入力：被災状況	…	9

第4編 附属資料

①よくある質問	…	11
②甚大な災害・大規模通信制限下における報告	…	11
記入例 人的被害情報	…	13
記入例 物的被害情報	…	14

第1編 被害情報の作成手順（共通事項）

自然災害等で生じた私立学校における被害の最新情報、対応状況については、滋賀県において取りまとめ、文部科学省に報告するとともに、災害対策に利用するほか、被災情報として情報提供しています。この被害に係る情報は、各学校から報告されたものを基にしています。災害発生時に各学校からの報告を迅速かつ適切に行えるよう、本手引きをご活用ください。

【1】報告ファイル（Excel 様式）の作成

報告ファイルの詳しい作成手順は後述します。共通することについて解説します。

（1）収集する情報

＜人的被害情報＞

- ・学校管理下、施設管理下において生じた負傷者、死亡者、行方不明者の状況
- ・道路の寸断等により孤立し、学校や施設に取り残された者の状況
- ・学校における休校・短縮授業、施設における休館・短縮開館の状況
- ・学校、施設で災害により開設された避難所の状況

＜物的被害情報＞

- ・災害により生じた建物、工作物、土地、設備への被害状況

（2）報告ファイルの様式

人的被害と物的被害の2種類があります。必ず最新の様式を用いてください。

- ・（〇月〇日〇時_設置者名）【滋賀県】被害報告（私立_人的）（災害名）.xlsx
- ・（〇月〇日〇時_設置者名）【滋賀県】被害報告（私立_物的）（災害名）.xlsx

（滋賀県HP掲載場所：滋賀県＞県政情報＞申請書等ダウンロード＞

申請書一覧（子育て・教育）＞私立学校関係申請書）

（3）報告ファイル名について

- ・「〇月〇日〇時」は、報告する時点の日付と時刻としてください。
- ・「設置者名」は、法人名または学校名としてください。

（4）報告ファイル編集上の注意点

集計時に不良データとなるため、次の編集は行わないでください。

- ①入力シート以外への記入、②シート名の変更、③数式、入力制限セルの改変

【2】報告ファイルの提出先（連絡先）

滋賀県子ども若者部 子ども若者政策・私学振興課 私学振興係

メール：shigaku@pref.shiga.lg.jp

TEL：077-528-3271 / FAX：077-528-4854

第2編 人的被害情報の作成手順

【共通：①】本編での共通事項

- ・文字種のうち、カナは全角、英数字は半角とする。
- ・セルの結合、シートの加除、シート名の変更は行わない。

【共通：②】集計時点での報告内容

集計時点での次の状況を報告対象とする。

- ・**累計** → 【1】学校管理下の人的被害の内容
集計時点までの累計が報告内容となる。
- ・**現状** → 【2】学校に取り残されている人数
【3b】（個別校入力用）休校・短縮授業の措置を行っている学校
【4】欄 避難先となっている学校
集計時点での状況が報告内容となる
(→例：集計時点で通常授業に復帰した学校は休校情報には計上しない)

【共通：③】各報告項目に共通する項目の入力（設置者名、学校名）

- ・1行につき1学校分の情報を入力する。
- ・同一災害、同一学校における被害情報を修正する場合は、新たな行を追加せず、過去に入力した情報を修正し、変更したセルを黄色に塗る。
- ・設置者名：法人名を記載する。例) 学校法人〇〇学園
- ・学校名：正式学校名（省略不可）とする。

【1】学校管理下の人的被害の内容

児童生徒等の人数				教職員等の人数				被害者の情報 被災状況等
軽傷	重傷	死亡	不明	軽傷	重傷	死亡	不明	

項 目	解 説										
(共通)	・ <u>災害を起因</u>とする負傷者等の累計を記入する。 ↳ 集計時点で治癒回復しても人数減とはしないが ① 負傷区分が変更、② 負傷等が学校管理下ではないことが判明 ③ 負傷等が災害に起因しないことが判明 の場合は減とする。 ・ 原則として、<u>学校管理下での人的被害</u>について記入する。										
人数	身分区分は次を参考に記入する。 <table border="1"> <tr> <td>児童生徒等</td><td>園児、児童、生徒、学生</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>教員、職員</td></tr> </table> 負傷等区分は次を参考に記入する。 <table border="1"> <tr> <td>軽傷・重傷</td><td>災害のため負傷し、<u>医師の治療を受けまたは受ける必要のあるもの</u>のうち「重傷者」とは 1 月以上の治療を要する見込みの者とし「軽傷者」とは、1 月未満で治療できる見込みの者</td></tr> <tr> <td>死亡</td><td>当該災害が原因で死亡し、死体が確認されたもの、または死体を確認することができないが死亡したことが確実なもの</td></tr> <tr> <td>不明</td><td>当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのあるもの</td></tr> </table> ※参考：「災害の被害認定基準について」（平成 13 年 6 月 28 日内閣府政策統括官(防災担当)通知）	児童生徒等	園児、児童、生徒、学生	教職員	教員、職員	軽傷・重傷	災害のため負傷し、 <u>医師の治療を受けまたは受ける必要のあるもの</u> のうち「重傷者」とは 1 月以上の治療を要する見込みの者とし「軽傷者」とは、1 月未満で治療できる見込みの者	死亡	当該災害が原因で死亡し、死体が確認されたもの、または死体を確認することができないが死亡したことが確実なもの	不明	当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのあるもの
児童生徒等	園児、児童、生徒、学生										
教職員	教員、職員										
軽傷・重傷	災害のため負傷し、 <u>医師の治療を受けまたは受ける必要のあるもの</u> のうち「重傷者」とは 1 月以上の治療を要する見込みの者とし「軽傷者」とは、1 月未満で治療できる見込みの者										
死亡	当該災害が原因で死亡し、死体が確認されたもの、または死体を確認することができないが死亡したことが確実なもの										
不明	当該災害が原因で所在不明となり、かつ死亡の疑いのあるもの										
被害者の情報 被災状況等	児童生徒等の人数、被害の原因等を簡潔に記入する。 データ例：登校時に生徒 1 名が大風で転倒し上腕骨折 ：登校時に生徒 9 名、教員 2 名が大風で転倒し捻挫等										

【2】学校に取り残されている人数

(避難しているものである場所や帰宅困難者の受け入れ施設での人数は除く)

児童生徒 ／教職員	人数	理由（交通手段の遮断、津波による被害、等）
--------------	----	-----------------------

項 目	解 説								
(共通)	・ <u>集計時点で孤立し学校に取り残されている者がいる場合に記入する</u>。具体には、災害による道路寸断などにより、児童生徒、教職員等が帰宅困難で救助または物資支援が必要な場合、学校に宿泊せざるを得ない場合に記入する。 なお、この人数には学校から避難してきている者、学校で受け入れた帰宅困難者及び公共交通機関の運転再開まで学校に待機している者は計上しない。 ・ 同一学校であっても、児童生徒、教職員は行を分けて記載する。 データ例： <table><tr><td>〇〇中学校</td><td>児童生徒</td><td>200</td><td>4/1 津波による被害</td></tr><tr><td>〇〇中学校</td><td>教職員</td><td>10</td><td>4/1 津波による被害</td></tr></table>	〇〇中学校	児童生徒	200	4/1 津波による被害	〇〇中学校	教職員	10	4/1 津波による被害
〇〇中学校	児童生徒	200	4/1 津波による被害						
〇〇中学校	教職員	10	4/1 津波による被害						
人数	【1】の人数（身分区分）を参考に仕分けて記入する。								
期間、理由	取り残された期間、理由について簡潔に記入する。 データ例：4/1 津波による被害 4/1 国道〇号線土砂通行止めによる交通障害								

【3 b】（個別校入力用）休校・短縮授業の措置を行っている学校

※【3 a】には記載しない。

休校/短縮	休校数/短縮数	措置を行う期間、理由 (警報の発令、公共交通機関の運休、等)
-------	---------	-----------------------------------

項 目	解 説								
(共通)	・ <u>集計時点での休校等の状況</u>を把握するためのデータとなる。 ↳ 集計時点で通常授業を行っている場合は記入しない。 ・ インフルエンザ等感染症を理由とする臨時休業は含めない。								
休校・短縮区分	次の区分で記入する。[リスト選択] <table border="1"> <tr> <td>休校</td><td>終日休校としたもの</td></tr> <tr> <td>短縮</td><td>短縮授業としたもの</td></tr> <tr> <td>間借り再開</td><td>代替施設で授業を再開しているもの</td></tr> <tr> <td>間借り短縮</td><td>代替施設で短縮授業を行っているもの</td></tr> </table>	休校	終日休校としたもの	短縮	短縮授業としたもの	間借り再開	代替施設で授業を再開しているもの	間借り短縮	代替施設で短縮授業を行っているもの
休校	終日休校としたもの								
短縮	短縮授業としたもの								
間借り再開	代替施設で授業を再開しているもの								
間借り短縮	代替施設で短縮授業を行っているもの								
概要	期間、理由、再開予定、学習の状況等を 20 文字以内で簡潔に記入する。 データ例 (警報) 4/1 大雨特別警報 4/1 暴風警報 4/1 学区避難指示 (災害) 5/1 震度 5 弱の地震発生、5/2 まで休校措置 (被災) 4/1 校舎浸水被害の復旧作業 (4/3 まで休校) 5/2 校舎地震被害 (再開未定) (交通) 4/1 学区浸水による通学困難、オンライン学習 4/1 JR〇〇線運休による通学困難 5/7 道路橋崩落による通学困難 (水道) 4/1 地区断水による給食不可 (4/3 まで短縮予定) 4/1 地区断水によるトイレ使用不可 (電気) 4/2 地区停電、復旧未定								

【4】避難先となっている学校

状況（開所日、閉所日、収容者数、等）

項 目	解 説
（共通） 状況	・ <u>報告時点での避難所設営状況</u>を把握するためのデータとなる。 └ 学校を避難所として開所している場合に記入し、既に避難所を閉所した場合は記入しないこと。 開所日、閉所日見込み、収容者数について記入する。 データ例：4/1～閉所日未定 収容者 10 名 4/1 開所 4/2 閉所予定 収容者約 50 名

第3編 物的被害情報の作成手順

【共通：①】本編での共通事項

- ・文字種のうち、カナは全角、数字は半角とする。
- ・セルの結合、シートの加除、シート名の変更は行わない。

【共通：②】基本項目の入力

被災年月日		災害名		都道府県名	
-------	--	-----	--	-------	--

項 目	解 説															
被災年月日	被災した年月日とする。 データ形式：(和暦) 年○月○日なお、複数日にかけて被災した場合は当初被災日とする。															
災害名	報告要請する際に指定する災害名とする。 なお、報告要請前に機関から報告する場合は次の通りとする。 ○災害名を指定する前に用いる仮災害名 <table><tr><th>災害種</th><th>災害命名則</th><th>災害名の例</th></tr><tr><td>地震</td><td>元号月(震源地方)地震</td><td>令和 5 年 1 月東京地震</td></tr><tr><td>台風</td><td>元号(台風番号)</td><td>令和 5 年台風第 1 号</td></tr><tr><td>豪雨</td><td>元号付豪雨</td><td>令和 5 年 7 月豪雨</td></tr><tr><td>落雷</td><td>元号月落雷</td><td>令和 5 年 1 月落雷</td></tr></table>	災害種	災害命名則	災害名の例	地震	元号月(震源地方)地震	令和 5 年 1 月東京地震	台風	元号(台風番号)	令和 5 年台風第 1 号	豪雨	元号付豪雨	令和 5 年 7 月豪雨	落雷	元号月落雷	令和 5 年 1 月落雷
災害種	災害命名則	災害名の例														
地震	元号月(震源地方)地震	令和 5 年 1 月東京地震														
台風	元号(台風番号)	令和 5 年台風第 1 号														
豪雨	元号付豪雨	令和 5 年 7 月豪雨														
落雷	元号月落雷	令和 5 年 1 月落雷														

【共通：③】各報告項目に共通する項目の入力

所在都道府県名	所在市町村名	設置者名	学校名	学校種
---------	--------	------	-----	-----

項 目	解 説
(共通)	・ 1 行につき 1 学校分の情報を入力する。 ・ 同一災害、同一学校における被害情報を修正する場合は、新たな行を追加せず、過去に入力した情報を修正し、変更したセルを黄色に塗る。
所在都道府県名	施設が所在する都道府県名とする。[リスト選択] データ例：〇〇県
所在市町村名	施設が主に所在する市区町村名とする。 町村における郡は記述しない。 また、複数の市区町村にまたがる場合は主に被災した所在地とする。 データ例：〇〇市、〇〇町、
設置者名	私立学校は設置する法人名を記載する。 データ例：学校法人〇〇学園
学校名	正式学校名（略称不可）とする。

【1】 必須入力：被災状況

被害状況	被災度 区分	被害額 (概算)	被災年月日	申請予定	金額根拠
------	-----------	-------------	-------	------	------

項 目	解 説						
(共通)	・ 災害により被災した内容を記載する。 ・ 情報の更新部分は朱書き、セル黄色塗りとする。 また、報告済みの内容が被災ではなかったことが判明した場合は、その行を文字取消線とし、金額欄に「取下げ」と記載する。						
被害状況	主な被害状況を 20 文字以内で簡潔に記入する。 データ例：体育館屋根材が飛散し、館内が水浸し A校舎の柱、壁が破壊され建物が傾斜 防球ネットが大風で破損、支柱倒壊 グラウンドの凡そ半分に土砂が流入し堆積						
被害度区分	被災した主な状況について該当する項目を記入する。 調査中のものは「調査中」と記入する。 迅速な現況把握のため、目視等による確認で判断する。 詳細な調査は本被害報告では要しない。 建物は次の区分を目安に記入する。 <table border="1"> <tr> <td>全壊</td><td>建物の全部又は一部が滅失又は倒壊し、新築復旧 する必要があるもの</td></tr> <tr> <td>半壊</td><td>建物の柱、壁等が被災し、補修して復旧するこ とが著しく困難で、新築復旧する必要があるもの</td></tr> <tr> <td>大破以下</td><td>新築復旧が必要なまでの被害には至らないが、復 旧に補強又は補修を必要とするもの</td></tr> </table>	全壊	建物の全部又は一部が滅失又は倒壊し、新築復旧 する必要があるもの	半壊	建物の柱、壁等が被災し、補修して復旧するこ とが著しく困難で、新築復旧する必要があるもの	大破以下	新築復旧が必要なまでの被害には至らないが、復 旧に補強又は補修を必要とするもの
全壊	建物の全部又は一部が滅失又は倒壊し、新築復旧 する必要があるもの						
半壊	建物の柱、壁等が被災し、補修して復旧するこ とが著しく困難で、新築復旧する必要があるもの						
大破以下	新築復旧が必要なまでの被害には至らないが、復 旧に補強又は補修を必要とするもの						
被災額（概算）	設備は消耗品を除く教材、教具、机、椅子等の備品である。 被害概算額がわかるものは金額欄に千円単位で記入する。 不明なものは「調査中」と記入する。 ※被害額は、災害復旧に関する国庫補助事業の予算積算や激甚災 害の指定の根拠となる被害額等として文科省が使用する。						

項 目	解 説
金額根拠	※施設ごとの正確な被害額が判断できない場合でも、過去の災害例等を参考に可能な限り記入する。 ※この被害額は各機関の災害復旧作業に関する国庫補助額とは直接関係しない。 ※報告済みのものが被災ではなく、取り下げる場合は被災額欄に「取下げ」と記入する。 算定の根拠を記載する。 データ例：見積、自前積算、類似事例 等
被災年月日	被災した年月日とする。 なお、複数日にかけて被災した場合は当初被災日とする。 データ形式：<u>(和暦) 年〇月〇日</u>
申請予定	災害復旧事業の申請予定について「有」「無」「検討中」から選択する。
校（園）舎 所在市町村	校（園）舎の所在市町村を記載する。
施設型給付を受け るか	私立幼稚園で施設型給付を受ける場合は「○」とする。
水害	該当する個所に「○」を入れる。 「床下浸水」「床上浸水」「グラウンド冠水」「土砂崩れ」「その他」 ※1つの学校で床上浸水・床下浸水がそれぞれある場合は床上浸水に「○」とする
風害	該当する個所に「○」を入れる。 「屋根・防水破損」「外壁破損」「倉庫等全壊」「その他」

第4編 附属資料

①よくある質問

【 人的被害 】

No	質 問	回 答
1	報告日時点では通常授業に戻っているが、過去に休校した情報は報告すべきか。	過去分は不要です。報告時点における休校措置（確定している翌日以降の措置を含む）を報告してください。
2	1つの学校で全日制は通常授業、定時制を休校としたが報告はどのようにすべきか。	休校数「1」とし、概要に「定時制のみ休校」等と記述してください。
3	1つの学校で全日制及び定時制を休校としたが報告はどのようにすべきか。	学校単位で把握しているため休校数「1」としてください。
4	避難所を閉所した場合、その旨での報告は必要か。	不要です。

②甚大な災害・大規模通信制限下における報告

- ・電子メールが障害で使えない場合は、次ページを参考に報告すること。

滋賀県子ども若者政策・私学振興課 御中

(FAX: 077-528-4854)

被災状況報告

(災害名) _____における被害状況は、

____年____月____日(____) ____時____分 現在までに、

☐ 確認できておりません。

☐ 【人的被害】 _____名の被害

(死者____名、行方不明者____名、負傷者____名)

☐ 【物的被害】 _____件の被害

(主な被害: _____)

☐ 特記事項 ※甚大な被害等を記述

(学校名) _____ (担当者) _____

(電話) _____ (FAX) _____

(E-mail) _____

<色凡例> 報告者記入対象項目

報告機関名	学校法人〇〇学園	担当部課名	総務課	E-Mail	aaa@aaa.lg.jp
集計時点	20XX 年 8 月 20 日 14 時	担当者名	〇〇 〇〇	電話番号	000-000-0000

[illegible][illegible]

所在都道府県名	所在市町村名	設置者名	学校名	学校種	児童生徒 ／教職員	人数	理由(交通手段の遮断、津波による被害、等)

[illegible][illegible]

所在都道府県名	所在市町村名	設置者名	学校名	学校種	状況（開所日、閉所日、収容者数、等）
滋賀県	A市	〇〇学園	△△高等学校	高	8/19～閉所日未定 収容者10名
滋賀県	B市	〇〇学園	□□専門学校	専	8/19閉所

(記入例) 自然災害等による被害状況について (被害概要)

【個票：物的被害_私立学校】

令和 年 月 日現在
被災年月日 災害名 都道府県名

※更新・修正した箇所はセルを色づけしてください。

施設被害(校)											
幼	小	中	義務	高	中等	特別	大学	短大	高专	専各	その他
		3		7							10

都道府県名		設置者名	学校名	学校種	被害状況	被災度 区分	被害額 (概算)	被災年月日	申請予定	金額根拠	校(園)舎所在 市区町村	施設型給付 を受けるか	水害					風害							
													床下浸水	床上浸水	グラウンド 冠水	土砂崩れ	その他	屋根・防水 破損	外壁 破損	倉庫等全 壊	その他				
滋賀県	A学校法人	〇〇第1高等学校	高	校舎床上浸水1m以上、受変電設備浸水	調査中	調査中		R3.4.1	有	概算見積	〇〇市			○											
滋賀県	A学校法人	〇〇第2高等学校	高	屋内体育館床下浸水、校舎床上浸水30cm、グラウンド冠水	調査中	調査中					〇〇市			○	○										
滋賀県	A学校法人	〇〇第3高等学校	高	屋内体育館屋根飛散	大破以下	調査中					〇〇市							○							
滋賀県	A学校法人	〇〇第4高等学校	高	法面崩壊(タテ15m×幅20m)	土地	調査中										○									
学校の設置者(学校法人名)を記入 なお同じ学校法人の中で、 複数校の被害がある場合は学校数分の列に記載					被害状況：建物、設備、土地、工作物について、被害状況を簡潔に記入 (受変電設備の被害がある場合も記入) ＜建物被害の判断目安＞ ※迅速に報告を行うため、目視等による確認で判断する。(詳細な調査は要しない。) 全壊：建物の全部又は一部が滅失又は倒壊し、新築復旧する必要があるもの 半壊：建物の柱、壁等が被災し、補修して復旧することが著しく困難で、 新築復旧する必要があるもの 大破以下：新築復旧が必要までの被害には至らないが、 復旧に補修又は補修を必要とするもの ※建物・土地・工作物などで複数の被害が出た場合は代表となる被災区分を選択							災害復旧事業に 申請予定の有無を記載 (この記載を以て 申請を送付したことにはならない)							記載要領：浸水情報の取扱い 津波や豪雨等による浸水被害がある場合、建物で床下浸水、床上浸水それぞれ該当がある場合「○」を記入 床上浸水・床下浸水が同時に起こった場合は床上浸水に「○」を記入						
各欄共通留意事項 ・自動計算セルもあるため、行・列の追加は行わない ・複数回報告する場合は、前回報告時から変更箇所・セルを 黄色セルに赤字で記載 ・一度報告した物的被害は、削除しない																									
×：悪い例 ・同じ施設の被害を複数の行に記載 ・複数セルの結合 ・被害情報を抽象的に記載																									
	B学校法人	A中学校	中	校舎のガラス破損、壁にクラック発生	大破以下	調査中																			
		A中学校	中	体育館の天井パネルが落下	大破以下	調査中																			
		B高等学校	高	土砂崩れで土砂が流入	土地	調査中																			
			高	床下浸水	大破以下	調査中																			
○：良い例 ・同じ施設の被害は1行に収める。 ・複数セルの記載や、セルの結合などは行わない ・被害情報は、被災場所や数値など具体的に																									
	B学校法人	A中学校	中	校舎のガラス○枚破損、壁にクラック発生△箇所、体育館の天井パネルが×枚落下	大破以下	調査中																			
	B学校法人	B高等学校	高	土砂崩れで土砂が特別教室校舎に流入(タテ15m×幅20m)、校舎に床下浸水(10cm)、グラウンド冠水	土地	調査中																			

〇列一AB列も記入すること

自動入力

見積、自己積算など、根拠を記載

被災年月日は、
発見日ではなく、
被災した日を記載。(幼稚園のみ)
私立幼稚園で施設型給付を受ける場合は○
幼保連携型認定こども園、
幼稚園型認定こども園は○記載要領：冠水情報の取扱い
津波や豪雨等によるグラウンド
冠水被害がある場合「○」を記入調査中の場合は
調査中と記入災害復旧事業に
申請予定の有無を記載
(この記載を以て
申請を送付したことにはならない)記載要領：浸水情報の取扱い
津波や豪雨等による浸水被害がある場合、建物で床下浸水、床上浸水それぞれ該当がある場合「○」を記入
床上浸水・床下浸水が同時に起こった場合は床上浸水に「○」を記入

各欄共通留意事項

- ・自動計算セルもあるため、行・列の追加は行わない
- ・複数回報告する場合は、前回報告時から変更箇所・セルを
黄色セルに赤字で記載
- ・一度報告した物的被害は、削除しない